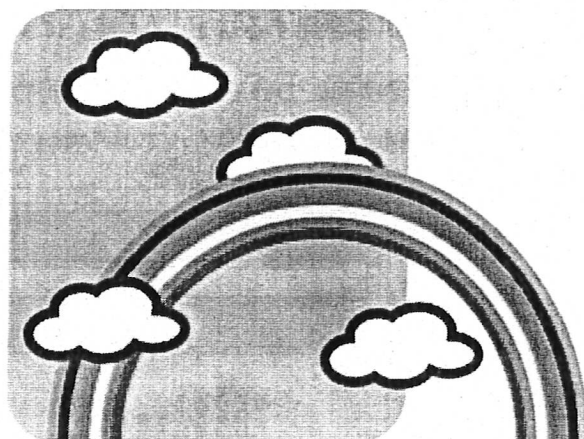


平成27年度高砂市民の人権意識調査

概要版

高砂市では、平成27年9月に高砂市に在住する20歳以上の男女（外国人を含む）3,000人を無作為に抽出し、アンケートを郵送する方法で市民の人権意識調査を実施し、1,870人（回答率62.3%）の皆様から回答をいただきました。このリーフレットは調査結果の一部を紹介しています。園・学校、職場、地域での研修会などで活用いただければ幸いです。

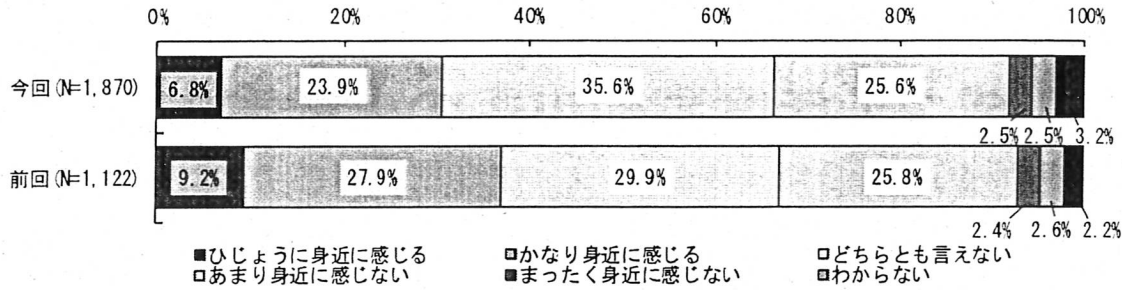


平成28年2月

高砂市

人権全般について

Q 「人権」をどのくらい身近な問題として感じておられますか（単数回答）

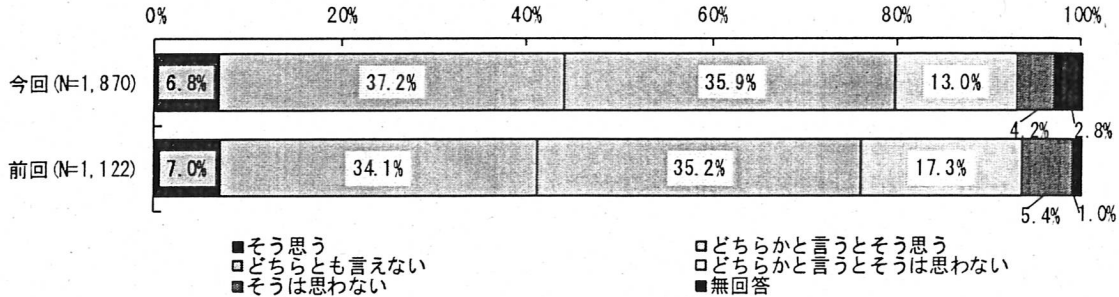


※ グラフ中の「N=***」は、集計区分ごとの集計母数を表します。

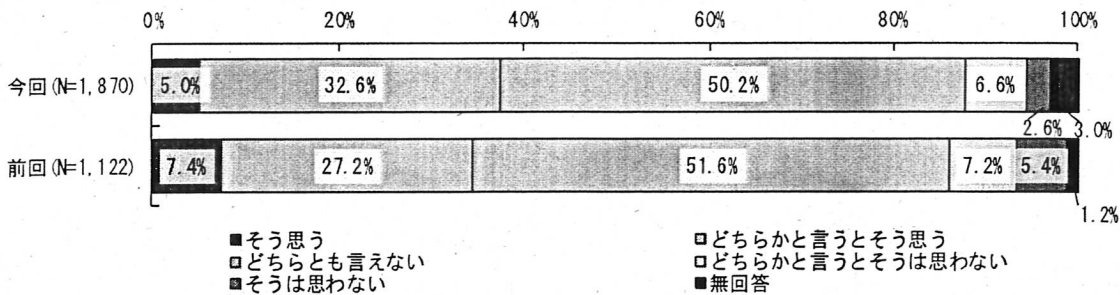
「人権」を身近に感じるという人は少なくなっています。身近で起こりうる人権問題について具体例を示しながら啓発するなど、「人権」により関心をもってもらうための工夫が必要です。

Q 人権に関する状況について、どのように思われますか

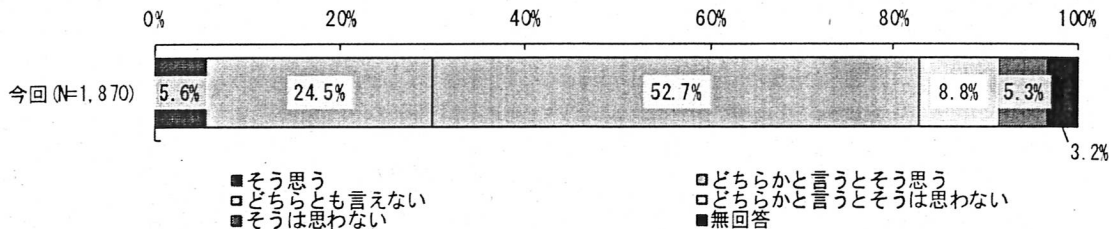
①今の日本は、人権が尊重されている社会である（単数回答）



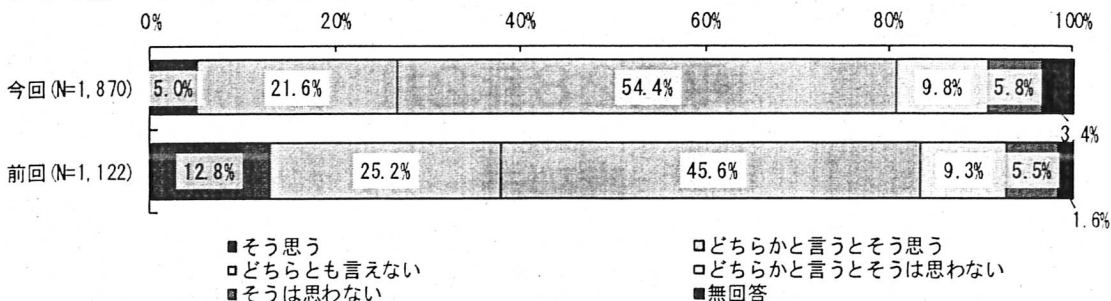
②今の高砂市は、人権が尊重されている市である（単数回答）



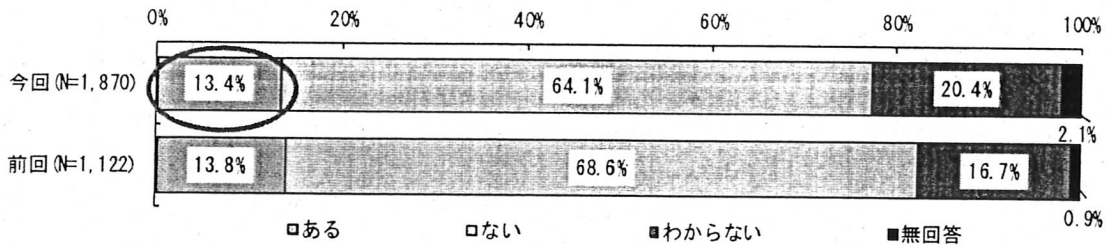
③市民一人ひとりの人権意識は5、6年前に比べて高くなっている（単数回答）



④5、6年前に比べて人権が侵害されることは減っている（単数回答）

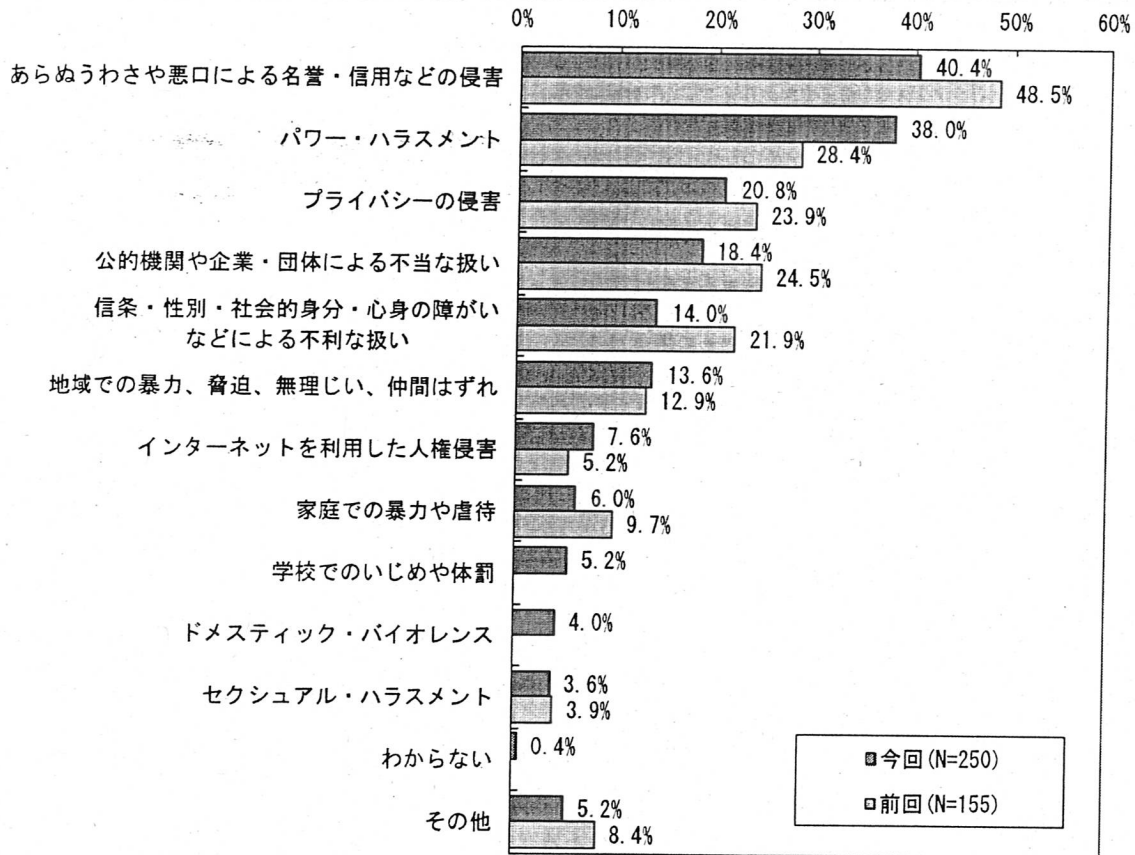


Q ここ5、6年以内に自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか（単数回答）

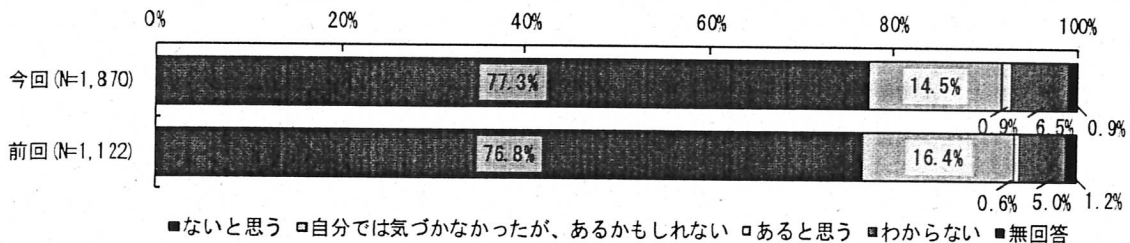


「ある」と回答した人に・・・

Q それは、どのような人権侵害でしたか（複数回答）



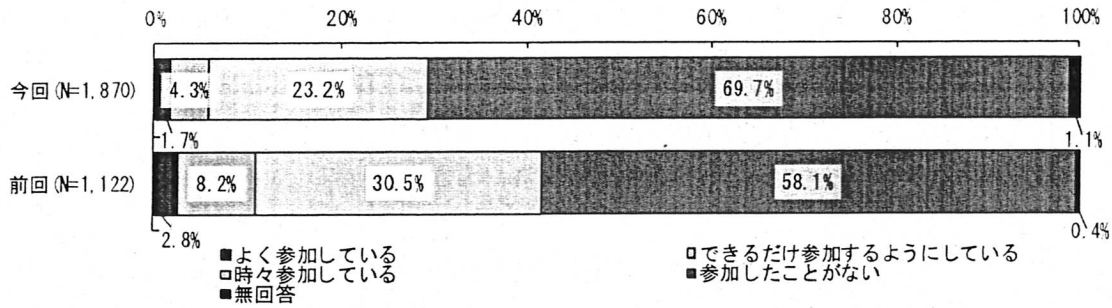
Q ここ5、6年以内に他人の人権を侵害したことがありますか（複数回答）



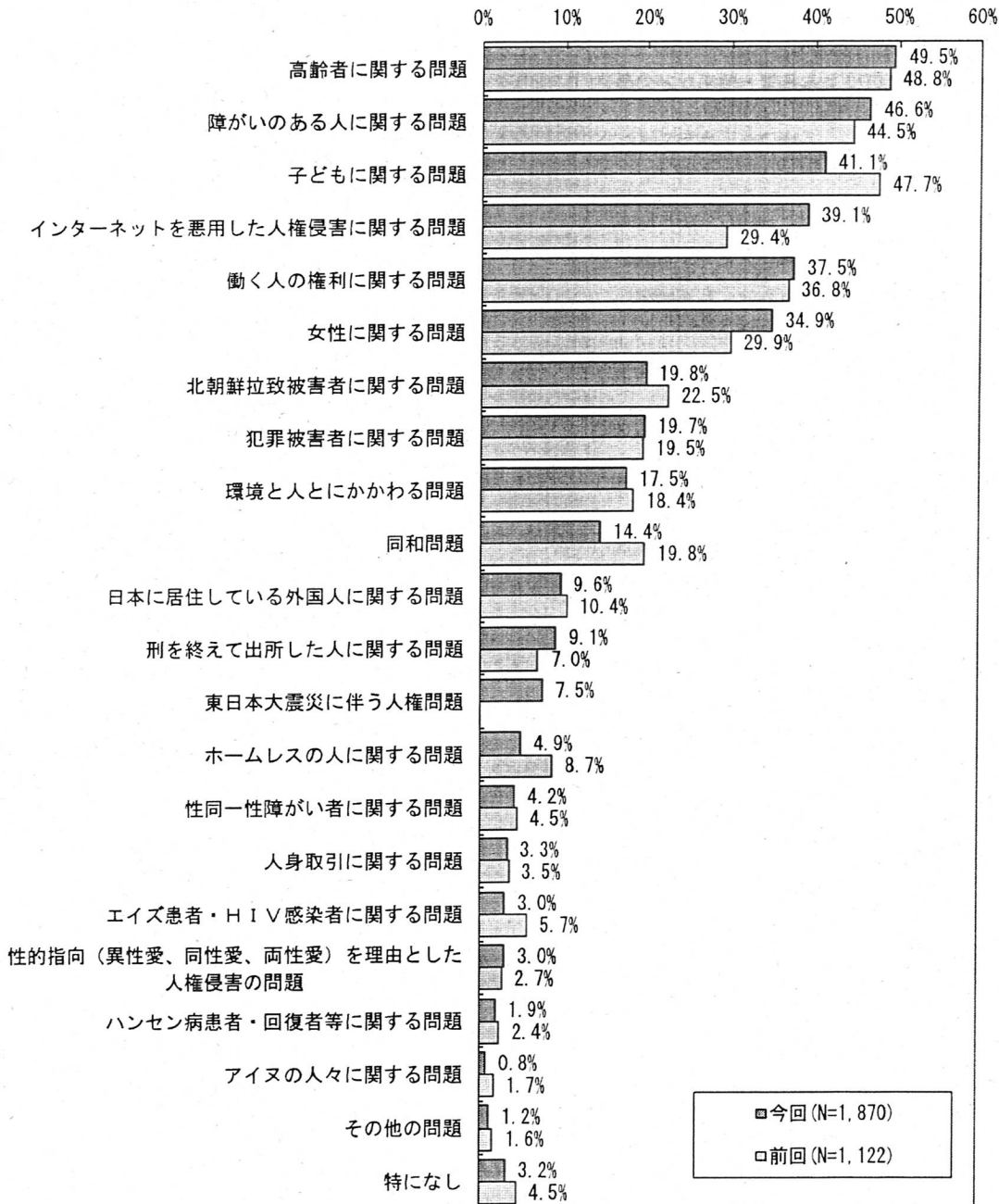
人権に関する状況について概ね肯定的に捉えている人が多く、また、人権侵害を受けた経験では、県民意識調査の結果に比べて「ない」と回答する人が多く、また、他人の人権を侵害した経験についても、県民意識調査の結果に比べて「ない」と回答する人が多い結果となっており、人権を尊重する風土が築かれている様子が見えます。

※「平成25年度人権に関する県民意識調査」では、人権侵害を受けた経験が「ある」は24.9%「ない」は52.7%、「わからない」は19.0%となっています。また、他人の人権を侵害した経験が「ないと思う」は45.1%、「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」は41.7%、「あると思う」は6.0%、「わからない」は6.0%となっています。

Q 人権に関する学習会、講演会、研修会、講座等に参加されたことはありますか（単数回答）



Q どのような人権問題に関心がありますか（複数回答）



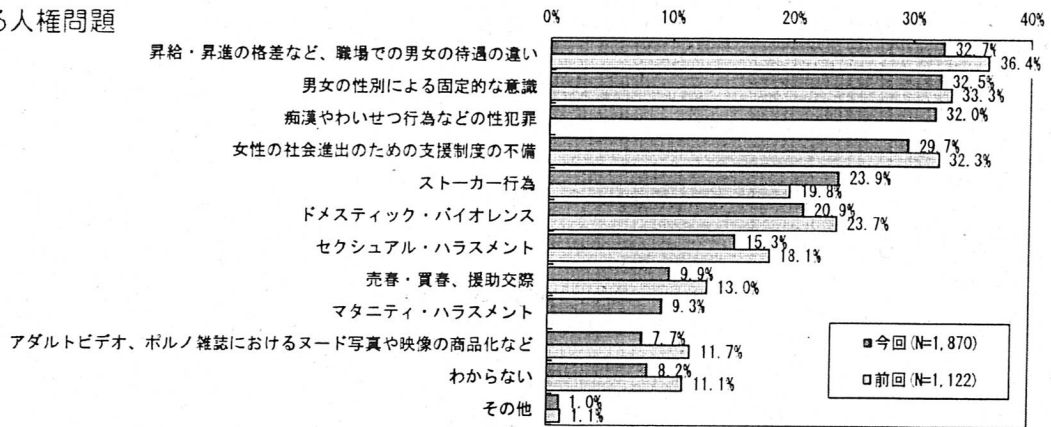
関心のある人権問題として、前回に比べて「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」への関心が大きくなっており、近年のインターネットに関連する事件報道等の影響がうかがえます。近年、人権問題は多様化・複雑化しています。人権侵害の被害者、そして加害者とならないためにも、学習会等に積極的に参加できる環境を整え、市民の人権意識の向上を図ります。

人権について問題と思われること

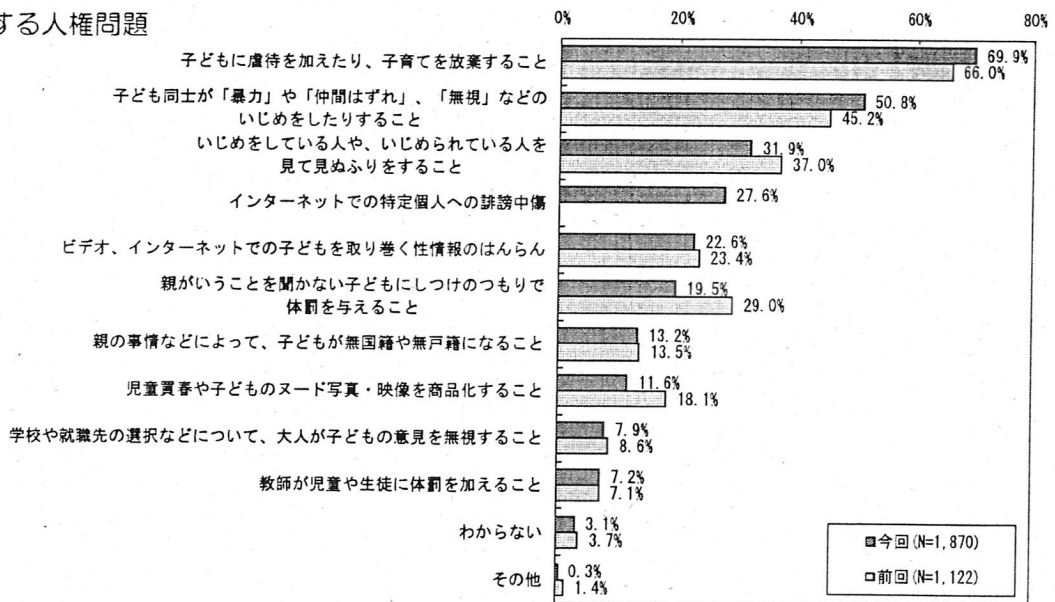
全ての人が互いに人権を尊重しあう社会を築くために、それぞれの人権問題が当事者にとっては切実で深刻な問題であることを十分に認識し、様々な困難を抱える人々の人権についても啓発を推進していくことが大切です。

Q 人権上、特に問題があると思われるのはどんなことですか（複数回答）

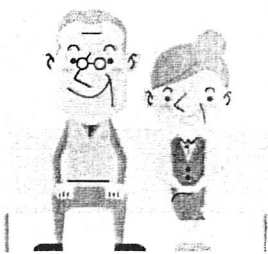
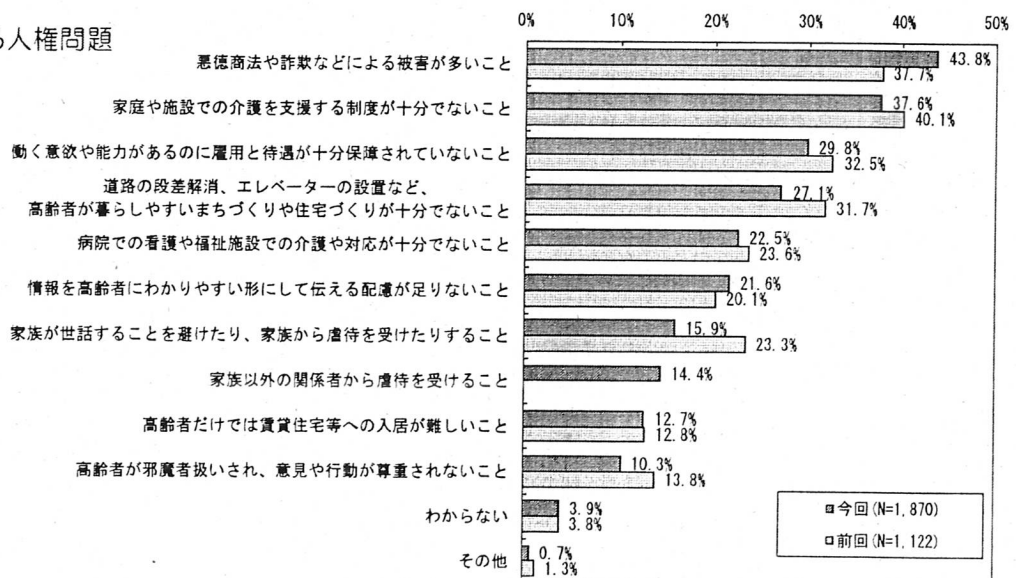
①女性に関する人権問題



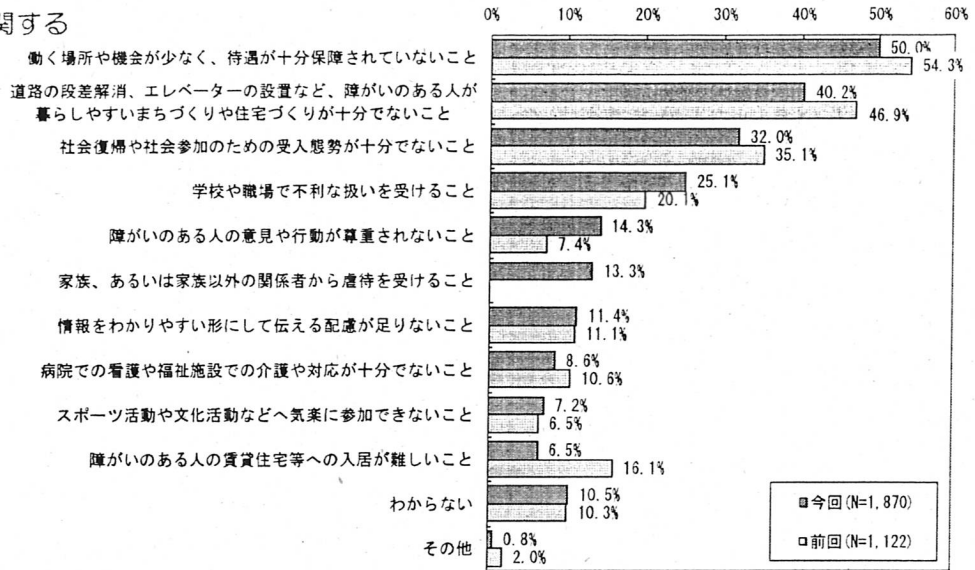
②子どもに関する人権問題



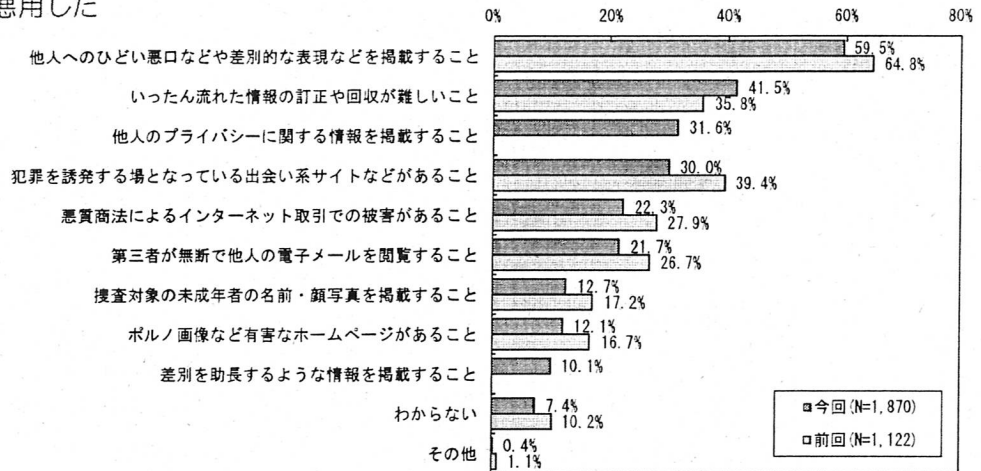
③高齢者に関する人権問題



④障がいのある人に関する
人権問題



⑤インターネットを悪用した
人権問題



⑥働く人の人権問題

